

# 飛び出すメモ帳、オモッロ!!

販促メモのご提案

新商品・サービスを、よりエンドユーザー様に強烈にアピールしたい！という方にオススメなのが、この飛び出す組立式メモ帳です！

アピールしたい商品、モノ、キャラクター、ロゴを飛び出す箇所にはめ込み、オリジナルのデザインが可能です。



(例)

【不動産業・注文住宅関係】  
窓メモキーフにした設計

【食品・通販・小売販売関係】  
商品メモキーフにした設計

情報量をたくさん入れたい場合

こんな形もOK!!



エンドユーザー様にお渡しするときに、透明PP封筒にメモ帳と共に、下記のような、組立説明の用紙(A6: はがきサイズ位の大きさ)をお入れすることができます。

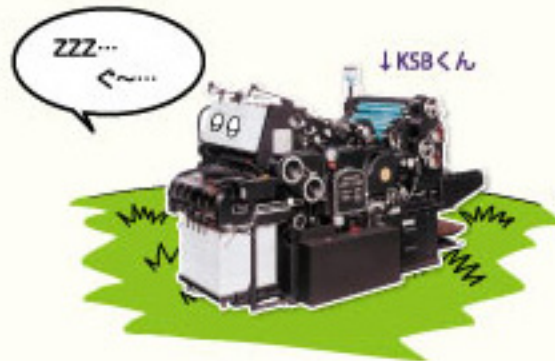
★手で組み立てる時間を持つことで、使用される方への宣伝の浸透時間が長くなり、アピール度はさらに高くなると思われれます。

PR



～ ポケットファイルは小林印刷へ ～

こぼりポケットファイル  
イメージキャラクター  
ぼけ とうい  
保華更衣



★「KSBくん」とは…こぼり(小林印刷株式会社)の活版印刷機械の名称。40年を使用しているが、現役でバリバリ生きて(稼働)いる。寿命はまだずっと先の生涯現役機械。ミシン、No.、筋入れ、型抜き加工を得意技とする。

「あらまあ。一時のお怒りかと思えますが、それは大変なことですね。私で何か力になれることはありませんか？」  
紫は、どんな保華更衣への情けの気持ちも深まり、力になりたいと思ったが、何を力になれればいいか見当もつかない。  
そんなこんなで縁側でふたりで悩んでいると、急に空気が湿っぽくなり、春の空の雲行きがあやしくなってきたのであった。  
寝殿造りの御所の整えられた庭園の木々が、ざわざわと揺れ出す。春の緑々とした葉々が風に吹かれて空中に舞いだした。風はだんだんと強くなり、びゅーびゅーと音を立てるほどになっている。

(第二回へ続く)

「前回までのあらすじ」  
時は平安時代。いつもぼけくつとしている、主上(帝)に寵愛を受けている保華(ぼけ)更衣。通りがかった、女童(めのわらわ)・紫(むらさき)の前で、主上(帝)からの文を無くしてしまい、さめざめと泣いている姿を見せつけてしまう。  
「…実は、主上との大事な思い出の文をなくしてしまい、大変お怒りになられているのです。この春は、丁度一年前に宮廷に入内したとも思いう深い季節で、たまたまこの前、初めて私が主上からもらった文を出せ、と言われ、私はもらったものをすぐどこに直したかを忘れるぼけくつとした人間なので、仕舞には「お前は本当に何も考えておらぬ！」と怒りをぶちまけられ、私のものを去ってしまったのです……」

【保華(ぼけ)更衣ストーリー 第二回】

「物の怪にしては、はつきりと見えるし、今までに一度も見たことがない、黒い異形(いぎよう)のものが見えます……あれは異形のものですわ!! ひとつおそろしや……(震)」  
それは、21世紀からタイムトリップしてきた「KSB(ケーエスピー)くん」であった……!!

「ついでに、前まで、天気が良き日だったというのに、なにゆえに突然天気が悪しきまになったのかしらん？」  
「保華更衣さま……何だか、いとおそろしゅうございますわ……」  
庭を不安におののきながら、ふたりで風で葉々の舞う庭をただ呆然と眺めていると、目の前で、少しづつ風が小さな竜巻をつくり出したのであった。  
「あな、いとおそろし！ 物の怪がこのように悪しき竜巻を作り出しているのかしら……(嘆)」  
「保華更衣さま。風がいはげしくなってきましたから、御簾の中にお入りになり、雨戸をお閉めになられたほうがよろしいですよ」  
保華更衣と紫は、そんな会話を交わしながら、縁側を立ち、屋敷の中に戻ろうとしたところ、竜巻の勢いが弱くなるのが見え、その中から黒い固まりが現れるのが見えたのであった。  
「紫よ……竜巻の中から黒い固まりが見えてきましたよ？ あれは何なのかしらん？」  
保華更衣は、元々怖いものしらずの好奇心旺盛な性格から、竜巻の恐ろしさも忘れ、縁側に立ち止まり、その黒い竜巻をぼけくつと凝視した。  
風と竜巻が止み、黒い固まりが姿を見せた。  
それは……

(第三回へ続く)